

入院診療計画書

脳梗塞治療（保存的療法）をお受けになる パス テスト001 様へ

脳神経外科 病棟 病室

主治医氏名		印
主治医以外の 担当者 氏名	担当医師	
	看護師長	
	担当看護師	
	管理栄養士	
病名		
症状		
手術		(なし)
特別な栄養管理の必要性		(あり ・ なし)

【患者または代理人同意署名】

患者番号 0008985093

年 月 日 氏名

*代理署名の場合 患者との続柄 ()

入院治療の目標（達成目標）		退院後の生活の注意点を理解できる 異常があれば、医療機関に相談できる			
推定入院期間	入院日（月 日）～入院2日目	入院3日目～9日目	入院10日目～14日目	入院14日～退院まで	
注射 ・ 内服	<ul style="list-style-type: none"> 入院時より点滴をします。 入院前から内服している薬がある場合は、薬の確認をします。お薬手帳や現在内服している薬、目薬など持参して下さい。 入院中は医師から指示された薬以外は内服しないで下さい。 医師から指示された薬を内服開始になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療のための点滴を、状態により継続します。 医師から指示された薬を内服して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 状態によって、点滴を継続することがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	
	検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血、心電図、胸のレントゲン、頭のCT、あるいはMRIの検査を必要時実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、検査をします。 		
処置	<ul style="list-style-type: none"> 心電図モニターをつけます。 状態をみながら、体重や身長を測定します。 	<ul style="list-style-type: none"> 心電図モニターを継続します。 			
教育 ・ 説明 ・ 指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院時に病状について医師より説明をします。 看護師が血圧、脈拍、体温の測定を行います。また、意識の状態や麻痺の様子、頭痛の有無、言葉の様子など症状の観察を行います。 病棟の看護師が家族に対して、入院のしおりを使い、入院オリエンテーションや必要物品の説明を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院まで看護師が血圧、脈拍、体温の測定を行います。また、意識の状態や麻痺の様子、頭痛の有無、言葉の様子など症状の観察を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅での生活が困難な場合、目的として転院を調整しましや療養を 	<ul style="list-style-type: none"> 必要時医師と話をする場を設けます。 転院日や退院日を確認します。 退院日に再診表や退院処方薬をお渡しします。 	
安静度	<ul style="list-style-type: none"> 入院日は基本的には絶対安静ですが、寝返りはできます。必要時看護師がお手伝いを行います。それ以降は医師の指示によって、ベッド上や車いすに座れます。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示、状態、リハビリの様子によって、徐々にベッドや車いすに座ったり、付き添い歩行、自立歩行など活動が広がります。 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> 入院日は基本的には、絶飲食です。それ以降は、医師の指示によって、食事を開始します。 	<ul style="list-style-type: none"> 経口摂取が可能な場合、食事を開始します。経口摂取が困難な場合は、鼻から管を入れて、流動食を胃へ注入します。 	<ul style="list-style-type: none"> 状態に応じて食事や流動食をすすめていきます。 		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 排泄時は状態によって、尿の管を入れたり、差し込み式の便座やおむつを使用しベッド上での排泄になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 排尿が困難な場合は、ベッド上排泄または、尿の管を継続します。排便も含めて、徐々に、トイレでの排泄に切り替えます。 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 入院した翌日には身体を拭き、病衣も交換します。また、尿の管が入っている間は毎日陰部もきれいにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体拭きを継続します。医師からの許可があり、状態によって器械浴やシャワーができるようになります。はじめは看護師がお手伝いをします。 			
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて運動や言葉のリハビリを開始します。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じてリハビリを継続します。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	

*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。

*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。

*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。

山梨大学医学部附属病院
〒409-3898 山梨県中央市下河東1110番地
TEL:055-273-1111(代表)

2022年7月改訂